

## つながり、知的な深まりを楽しむ子どもが育つ授業づくり(3年次)

～子どもが友だちの表現に「価値」を見出すことができるようにするための教師の働きかけを通して～

### 家庭科における、つながり、知的な深まりを楽しむ子どもの姿とは

家庭科における「知的に深まる」子どもの姿とは、子どもが家庭科の見方・考え方を働かせながら、課題解決に向けて学習をすすめている姿である。この生活の営みに係る見方・考え方を働かせるというのは、家庭科が学習対象としている家族や家庭、衣食住、消費や環境等に係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫していることである。それを「楽しむ」子どもの姿というのは、家庭科の見方・考え方を働かせながら課題解決の中で、その方法や有効性を子ども自身で見出すことができたり、見出したことをもとに実践的・体験的な活動を通して実感をもって理解し、技能を身に付けることができたりしている姿である。さらに、友だちと「つながる」ことで、様々な経験や思いが交流され共に課題解決したことに達成感を感じたり、自分や友だちのやり方のよさに気付き、自分の生活に積極的に生かそうとしたりしている姿も、学ぶことをより「楽しむ」子どもの姿と考える。そのためには、子どもたちが“学習対象と自分”“自分と友だち”と「つながる」ための教師の働きかけが必要となる。そこで子どもが思考・判断・表現できる場を設定し、それを見取りつなげていくためには、子どもたちがまず共通の土台に立ち、同じ方向を向いて意欲的に授業に取り組める環境をつくるのが重要となってくる。そして、同じ課題に向かっていく中で、友だちのよさに価値を見だし、共に問題を解決していこうとすることで、「つながる」ことのよさを実感していくと考える。そこで、教師の働きかけを以下のようにとらせ、本時を実践していくこととする。

#### 1. 子どもを「共通の土台」のせるための働きかけ

本時は、「上手に手入れをするためにはどうしたらいいだろう」という課題をもち、自分の生活を振り返ったり友だちの意見を取り入れたりしながら、よりよい日常着の手入れについて考える時間である。そこで、まず子どもたちには事前に家庭でのインタビューをしてくることにした。インタビュー内容については、自分の洗濯の経験の有無であったり、これまでの手入れでの失敗であったり、きれいに手入れをするための工夫などである。その家庭でのインタビューをもとに、まず、日常着の手入れでの失敗例をいくつか紹介しようと考えている。また、その際には縮んだセーターなど、いくつか実物を提示することでより実感を伴って考えることができるようにしたい。このようにインタビューをもとに自分の家庭でも起きたであろう失敗について考えることで、自分事として考えることができたり、実際に実物を目にすることで、「よし、失敗しないためには…」と課題解決への意欲を高められるのではないかと考える。

また、実際に解決していく場面の始めは、まず自分の生活を振り返りながら自分で考える時間をとりたい。そこで、家庭でのインタビューをもとに解決方法をワークシートを記入してもよいことを伝える。また、ワークシートは手順ごとに項目が分かれており、どこで工夫をしたらよいのかを分かりやすくできるようにした。このように、家庭でのインタビューを活用したり、ワークシートに記入しやすくしたりすることで、子どもが自分の考えをもちやすい状況をつくりたいと考えている。

## 2. 子どもが友だちの表現に「価値」を見出すことができるようにするための働きかけ

### ○友だちの意見に興味を持てたり、友だちの意見のよさを実感できたりするような働きかけ

本時では、いくつかの失敗例をもとに「みんなでズバッと解決しよう」と提案し、みんなで工夫を出し合って解決していこうと伝える。そうすることで、一つだけではなくて、様々な意見を参考にしながら衣服の手入れを見つけたいという思いをもたせたいと考える。1でも述べたように、まず失敗しないための工夫を自分の家のやり方を参考にしたり自分で考えたりしてワークシートに記入させるのだが、その際には手入れの手順のどの工程でその工夫を行うかを分かりやすくした。そして、全体で思いを共有する際にはどこの工程で工夫をするのかネームカードを貼るなどして分かりやすくしていく。そうすることで、「自分と同じところで工夫をしようとしているな。でも同じ工夫かな…」「自分とは違うところに工夫があるのか…聞いてみたいな」という思いをもたせたいと考えている。また、友だちと意見を交流する際には「だれの意見を聞いてみたい?」「干す時に工夫をするところに貼っている人が何人かいるけど、同じ干し方かな?」と聞いてみたり、「ここに貼った人は一人しかいないけど、ここにも工夫があるんだね。どんな工夫あるんだろう?」と少数の意見のよさに気づけるような声かけをしたりすることで、子どもが友だちの表現に「価値」を見出すことができるようにしていきたい。また授業後には、友だちのどの意見を参考にこれからの生活に役立てていきたいかをふり返りに記入させることで、友だちのよさを実感できるようにしていきたい。

### ○学習したことをもとに自分の生活を振り返る場を設定し、自己の変容を自覚できるような働きかけ

家庭科では、自分の学習状況を把握したり、自分の家庭を意識して学習に向かったりしている状態を自己を見つめている状態と捉える。問題解決の過程においては、自己を見つめたり、解決方向に進んだりを繰り返して行く中で、家庭科の「見方・考え方」磨かれ自己の変容にも気づきやすくなると考える。教師は、子どもが常に自分や自分の生活に戻るよう見取り返すことで自己を見つめやすくし、自分の家庭を意識しながら学習をすすめることができると考える。そうすることで、「自分の家庭ではこんな風になっているのはこういう理由があったのか」と改めて自分の家庭のよさに気付いたり、「このままではだめだぞ」と問題点を見つけたり「自分の家でもためしてみよう」と改善点を見出したりし、よいよい家庭生活の創造につながっていく。本時では、ワークシートなどに友だちの意見を参考に学習したことを記入させることで授業前と授業後の自己の変容が分かるようにしたり、友だちのよい意見や、自己の家庭を思い起こさせながら授業後に振り返りをさせるなどし、「自己の変容を自覚できる」ようにしていきたい。

## 1. 題材名 　　すずしく快適に過ごす着方と手入れ

## 2. 指導観

本題材は、小学校学習指導要領〔B衣食住の生活（4）「衣服の着用と手入れ」のア・イ〕の内容を主として受けている。本題材は、衣服の着用と手入れについて、課題をもって、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方、手入れの仕方に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、着用と手入れの仕方を工夫することができるようにすることをねらいとしている。題材構成としては、すずしい着方、衣服の着方の工夫、衣服の手入れで構成されている。導入ですずしい着方の特徴を見つける際、既習した温かい着方と衣服の働きについて比較したり、ふり返ったりしながら、学習を進めていく。衣服の手入れでは、まず手洗いの手入れの仕方を知り、靴下の手洗いによる洗濯を実習指導していく。その後、衣服にはさまざまな種類があり、その素材に応じた手入れがあることを学習していく。そして、すずしく快適に過ごす着方について学習したことや、衣服の手入れの工夫など学習したことを生活で生かしていけるようにしていく。

本学級の子どもは、昨年度冬に温かい着方について学習をしている。その際に、「体温を下げない」「空気の層をつくる」「風を通さない」と3つの観点から、温かい着方について学習をした。衣服を着る際には、流行や見栄えのよさだけではなく、その季節にあった機能性も含めた着方が大切であることを学んできている。本年度は、既習の内容をもとに、夏にはどのような着方をすれば快適になるのかを学習した。その際、既習をもとに、冬とは逆の「熱もこもらせない」「風通しをよくする」などの視点を持ち、夏の快適な着方について意見を出し合う姿が見られた。その後、夏にはたくさんの汗をかくことから、衣服の手入れの必要性も学習し、簡単な衣服の手洗いについて学習している。本時では、衣服にはさまざまな種類があり、その素材に応じて手洗い以外にもさまざまな手入れがあるということを学習していく。友だちといろいろな衣服の手入れについて意見を交流しながら、今後の自分の生活に役立ててほしいと考えている。

本時は、日常の洗濯の失敗から「上手に手入れをするためにはどうしたらいいだろう」という課題を設定し、自分の生活を振り返ったり友だちの意見を取り入れたりしながら、よりよい日常着の手入れについて考える時間である。日常着の洗濯の失敗例については児童が事前に行ったインタビューをもとにいくつか提示し、実物も見せることで、「上手に手入れをしたい」という意欲を喚起したいと考えている。提示後、どのように手入れをしたらよいのかを、手入れの項目ごと（洗う前・洗う時・干すとき・しまう時・その他）に分かれたワークシートに記入させていく。記入をする時には、事前に自分の家庭で行ったアンケートをもとに、記入をしてもよいこととする。そうすることで、一人がひとつ自分なりの意見をもって授業に臨めるのではなかと考える。ワークシートに記入後、全体でそれぞれの意見を確認していく。その際には、友だちがどの場面で工夫をしようとしているのかが分かるように提示し、友だちの意見を聞きたい、という思いがもてるようにしたい。また、子どもたちにどの友だちの意見を聞きたいかをたずねるなどし、いくつか出た意見を、自分のワークシートに加筆していくことで、友だちの意見のよさに気づくことができるようにしたい。全体で意見を交流する際に、「取扱絵表示」を見るという子どもの意見が出れば、それも紹介していくこととする。授業後の振り返りの場面においては、三つの項目でいつも家庭科日記を書くようにしている。項目は○授業での気づき○友だちのよかったところ○自分の家庭をふり返って、という項目である。本授業で参考になった友だちを家庭科日記に書いて振り返ることで、友だちのよいところを自分の家庭で生かそうとする姿が見られるのではないかと考える。

このようにさまざまな衣服の手入れの失敗を自分の家庭をふり返ったり、友だちと話し合ったりしながら改善点について考えていくことで、自分の家庭のよさや友だちの意見のよさを実感しながら、今後の衣生活に役立てていこうとする姿を期待している。

### 3. 目標

- 衣服の主な働きが分かり、季節や状況に応じた日常着の着方、またその手入れについて理解している。
- 季節に合わせた衣服の着方や、衣服の適切な手入れについて考え、工夫している。
- 季節に応じた快適な着方や、衣服の適切な手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、生活を工夫したりして、実践しようとしている。

### 4. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。</li> <li>・日常着の手入れが必要であることや、ボタンのつけ方及び洗濯の仕方を理解しているとともに、適切にできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常着の手入れや快適な着方について問題を見出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員として、生活をよりよくしようと、衣服の着用について課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。</li> </ul>

### 5. 指導計画（5時間扱い）

次	学習内容【時数】	評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
すすしく快適に過ごす着方と手入れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような着方がすすしいか考える。【1時間】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常着の快適な着方や手入れの仕方について問題を見出して課題を設定している。(ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の着用と手入れについて課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。(ワークシート・観察・家庭科日記)</li> <li>・衣服の着用の手入れについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。(ワークシート・家庭科日記)</li> <li>・衣服の着用と手入れについて工夫し、実践しようとしている。(観察)</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑い季節を快適にするにはどうしたいか考えよう【3時間】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節に応じた日常着の快適な着方について理解している。(ワークシート)</li> <li>・日常着の手入れが必要であることや洗濯(手洗い)の仕方を理解しているとともに、適切にできる。(実習の様子・ワークシート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常着の快適な着方や手入れの仕方について考え、工夫している。(観察)</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・快適な衣生活を考えよう【1時間】</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の主な働きが分かり、日常着の快適な着方について理解している。</li> </ul>	

	・衣服の手入れを工夫しよう【1時間】本時		・日常着の手入れについて問題を見出し、様々な解決方法を考え、実践を評価したり改善したりしている。(授業中の発言・ワークシート)	
--	----------------------	--	---	--

## 6. 本時の指導

### (1) 小 題 材  すずしく快適に過ごす着方と手入れ

(2) 目 標  ○日常着の手入れについて問題を見出し、問題解決に向けて自分で考えたり友だちと意見を交流したりしながら改善している。

### (3) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
/	・日常着の手入れについて問題を見出し、様々な解決方法を考え、実践を評価したり改善したりしている。(授業中の発言・ワークシート)	・日常着の手入れについて課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。(ワークシート・家庭科日記)

(4) 準 備 物  洋服, 掲示物, ワークシート

### (5) 展 開

学習活動	教師の働きかけ
1. 家庭でのインタビューを振り返り、日常着の手入れで失敗したことを確認する。  ○セーターが伸びた ○服が縮んだ ○色移りした ○ポケットの中に紙が入っていてとけてちらばった ○しわがたくさんできた	○事前に家庭へ日常着の手入れについてのインタビューをすることとし、その中であった失敗について全体で確認をする。
上手に衣服を手入れするためにはどうしたらいいだろう？ ～みんなでズバッと解決！～	
2. どのような解決方法があるのか、家庭でのインタビューをもとにしたり、自分の経験をもとにしたりして考える。 「準備の段階で、ポケットの中身を確認したらよいとお母さんが言っていたな」 「それに合った洗剤があるんじゃないかな」 「毛糸は手洗いじゃなきゃダメなんじゃないかな」	○衣服の手入れの手順に沿ったワークシートに、解決方法を記入させる。 ○ワークシートには手順ごとに記入欄を設け、どの段階で工夫が必要かを分かりやすくする。 ○記入する際には、自分の家で行ったインタビューを参考にしてもよいことを伝える。 <b>【手順】</b> ○準備  ○洗濯  ○干す  ○しまう  ○その他

<p>3. 自分の解決方法を全体の場で表現したり、友だちの解決方法をたずねたりする。 「自分と同じ行程に工夫をしている人がいるな。でも同じ工夫かな…」 「干す時に何か工夫があるのか…自分とは違うな…何をするんだろう」</p> <p>4. 取扱い絵表示について知り、衣服にはそれぞれの素材や特性に応じた手入れの仕方があることを知る。 「このマークを見ると、すぐに分かるようになっていてのか」 「洗う前にチェックすると失敗せずにできそうだな。便利だな」</p> <p>5. 学習の振り返りをする。</p>	<p>○手入れの手順を項目ごとにしめした掲示物に、自分がどこで工夫をするのかシールを貼らせ、全体で共有できるようにする。</p> <p>○子どもたちに自分と同じ意見や、違う意見に着目させ、聞いてみたい工夫などを尋ねるなどし、多様な意見に触れるきっかけとする。</p> <p>○自分とは違う意見をワークシートに赤で記入させることで、友だちの意見のよさに気付くことができるようにする。</p> <p><b>思</b> 日常着の手入れについて問題を見出し、様々な解決方法を考え、実践を評価したり改善したりしている。(授業中の発言・ワークシート)</p> <p>○洋服などに取り付けられている「取扱絵表示」を紹介し、衣服の手入れの参考となること伝える。「取扱絵表示」に気付いた子どもがいれば、子どもの気づきとして紹介したい。</p> <p>○家庭科日記の項目に・授業での自分の気づき・友だちの意見・自分の家庭のそれぞれをふり返る項目をつくり、友だちの意見のよさに気付くことができるようにする。また、これからの衣服の手入れをどのように改善して行ったらよいかを自分の家庭をふり返りながら書くように伝える。</p> <p><b>主</b> ・日常着の手入れについて課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。(家庭科日記)</p>
--	--